



岩崎 駿

畜産試験場 主任研究員

2020年入庁

埼玉県和光市出身

職歴

2020 - 曾於家畜保健衛生所

2023 - 畜産試験場乳用牛研究室
(現職)

01 現在の仕事内容



畜産試験場では、乳用牛の飼養管理や乳房炎等の疾病対策、生産性が高く病気になりにくい牛群の改良に関する試験研究に従事しています。あわせて、獣医師として試験牛の健康管理や治療も行っています。

02 鹿児島県に入庁した理由



口蹄疫の発生に衝撃を受け、伝染病から畜産業を守る家畜防疫員として働きたいと考え、公務員獣医師を志しました。その中で、牛・豚・鶏いずれも全国トップレベルの畜産県である鹿児島県であれば、幅広い分野で活躍できる点に魅力を感じ、入庁を決めました。

03 現在の業務の魅力



試験研究の計画立案からデータの収集・解析、結果のとりまとめまで一貫して担当できる点に魅力を感じています。興味のある新しい技術にも挑戦しながら知見を深められるなど、自由度の高い環境であることも特徴です。また、人工授精や受精卵移植といった繁殖分野に加え、分娩、子牛管理、搾乳牛管理など、幅広い飼養管理に携われる点や、臨床業務も経験できる点は、他の部署にはない強みです。そして、自分が担当した試験研究の成果が現場に普及し、農家の課題解決や収益性の向上に貢献できる点が、この仕事の最大の魅力です。

04 とある1日の過ごし方



現場業務

- ・ サンプルング、測定
- ・ 検査、治療
- ・ 飼養管理

検査・分析

- ・ 乳房炎検査
- ・ 飼料分析

試験研究資料の作成

- ・ データ整理・解析
- ・ 結果とりまとめ
- ・ 報告書作成

退庁

翌日の業務を確認し退庁

昼休憩

出勤

08:30

10:00

11:00

12:00

13:00

14:00

15:00

16:00

17:15

05 仕事でやりがいに感じることに



データをもとに課題を明らかにし、文献などから得られた知見を踏まえて解決策を検討し、飼養管理や疾病対策などの改善につながったときにやりがいを感じます。特に、その結果として乳質や生産性の向上がみられた際には、自分の仕事が現場で役立っていることを実感できます。また、農家や学生からの相談に対して適切に対応し、その結果として信頼を得られたときにも大きな達成感を感じています。

06 仕事できつかったこと・苦勞したこと



各研究室に配置される獣医師は一人のため、主体的に対応する場面が多くあります。大学では基礎研究を中心に学んでいたため、実践的な臨床技術をほとんど経験しておらず、配属当初は勝手がわからず苦勞しました。しかし、先輩職員の指導を受けながら経験を重ねることで、徐々に対応できるようになり、現在では積極的に新しい技術にも挑戦しています。

07 仕事でびっくりしたこと・印象に残っていること



鹿児島で行われた全国和牛能力共進会や国体（馬術）などの大きなイベントでは、所属の垣根を越えて獣医師が一丸となって運営にあたり、その連携力の高さに驚きました。

また、獣医師の待遇改善も着実に進められています。国内外の研修制度が充実しており、私自身もアメリカ・ウィスコンシン州で研修を受ける機会を得ました。給与面の向上も含め、働きやすい環境づくりが進められている点も印象的です。



アメリカの酪農家との記念写真

08 鹿児島県庁の好きなところ



同じ志を持つ他県出身の獣医師も多く、皆が鹿児島の畜産に誇りを持って仕事に取り組んでいる点が素晴らしいと思います。また、畜産県である鹿児島では獣医師の役割が大きく、地域社会から一目置かれる存在であることも気に入っています。

09 仕事終わりや休日の過ごし方



鹿児島は温泉が多いことでも有名で、いつの間にか温泉巡りが趣味になりました。休日は地域のイベントを見に行ったり、家ではペットと過ごしたりしてリフレッシュしています。

